vinetur

米小売店のアメリカンウイスキー掲載価格、週次調査で1.37％上昇

12x75の週次調査でウイスキーが最大の上昇幅を記録。ただし、需要拡大や販売回復を示すデータではない

2026年11月18日（水）



米国の小売店で広告掲載されたアメリカンウイスキーの価格は、民間の週次取引調査で上昇した。ただし、この上昇は販売の回復や需要の拡大を示すものではない。

蒸留酒の価格追跡サイト12x75は11月17日火曜日に公表した報告書で、American Whiskey 40指数が11月15日までの週に39.57ドルとなり、11月8日の39.03ドルから上昇したと発表した。同社が公表した計算に基づくと、上昇幅は0.54ドル、率にして1.37％だった。

この報告書が追跡するのは米国内の店舗で表示された価格であり、実際の購入価格ではない。12x75独自の蒸留酒価格登録データを基にしており、全国市場の公式指標ではない。同社によると、11月17日付のより広範な更新データは220商品を含む5つのバスケットを対象とし、American Whiskey 40指数は米国産ウイスキーの40銘柄を追跡している。

報告書の対象カテゴリーのうち、ウイスキーは週次で最大の上昇幅を記録した。ウォッカは25.22ドルから25.37ドルに上昇し、上昇幅は0.15ドル、率にして0.61％だった。テキーラは53.63ドルから53.78ドルへ0.15ドル（0.28％）上昇した。スコッチウイスキーは57.28ドルから57.41ドルへ0.13ドル（0.23％）上昇。ジンは35.38ドルから35.40ドルへ0.02ドル（0.06％）小幅に上がった。

12x75によると、ドル建ての増減額は丸めた数値から算出した一方、公表した増減率には丸める前の数値を用いた。各指数はすべて米ドル建て。

報告書は、過去の販促後に店頭価格が持ち直し、とりわけウイスキーでその傾向が見られたと指摘した。ただし、このデータは取引価格、販売数量、売上高を測定するものではない。そのため、今回の上昇を消費者需要の回復を示す根拠にはできないと同社は述べた。また、米国の蒸留酒全体のインフレを示すものでもない。

今回の週次更新には、前年同期との比較や一貫した年初来の指標は含まれていなかった。報告書にある比較可能な278銘柄のボトル価格推移を別途集計すると、中央値に変化がなかったのは240銘柄、上昇したのは32銘柄、下落したのは6銘柄だった。価格が上昇した商品は一部にとどまり、大半の掲載価格は安定していたことがうかがえる。

12x75によると、同社の手法では、同じ小売店における日々の価格変動を比較する。調査対象は参加店舗で広告掲載された価格で構成されるため、蒸留酒市場全体の動向ではなく、商業上の価格設定の動きを反映する。それでも、最新の調査でウイスキーの変動が目立ったのは、ほかの4カテゴリーの変化を上回ったためだ。